



鈴木和彦がお届けします！

会派広報誌 街道しずおか 自由民主党静岡市議会議員団

政調会長が
第3次静岡市総合計画
「世界に輝く静岡の実現」を
加速化すべく力強く代表質問

代表質問を行う
大村一雄政調会長▶



市議会 2月定例会

歴史文化施設

田辺市長の答弁：求心力が強く、世界中から人が集まる「まち」をつくるため、静岡都心に世界レベルの「歴史文化施設」をつくることとしました。

施設整備にあたっては、民間活力の導入と集客力の確保が課題であるため、博物館機能と、集客創造、回遊促進のためのビジターセンター機能の2つを活かして、相乗効果が期待できるような施設が参入できるか調査し、民間との複合施設化の検討を行った上で、平成33年度中の開館を目指します。



海洋文化拠点

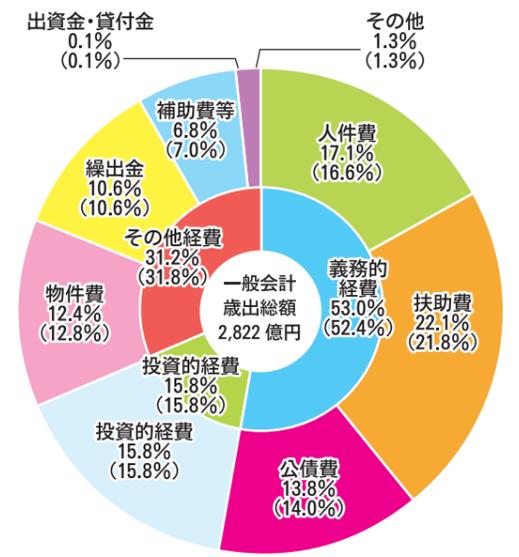
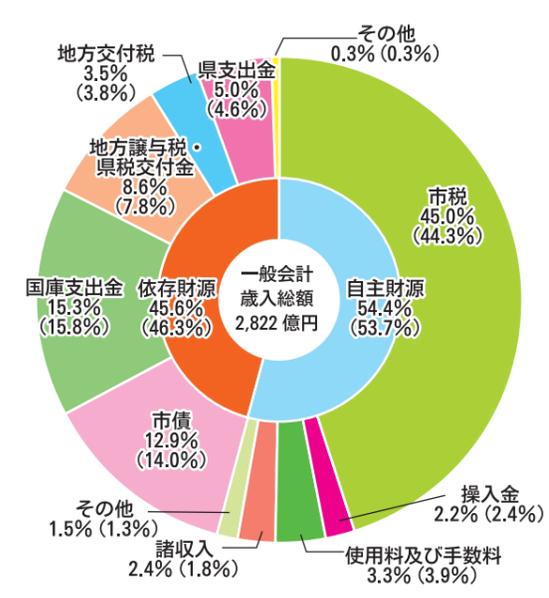
田辺市長の答弁：「海洋文化拠点」の実現に向けて、平成28年度は産学官が連携した海洋文化拠点構想に関する有識者会議を新たに設置し、基本構想を策定します。この基本構想において、今後の清水港ウォーターフロントの開発が期待される「日の出地区」を有力な候補地として、開発可能性を検討していきます。



平成27年12月 管内現場視察のため静岡市清水区にある静岡鉄道 大坪新駅候補予定地、高橋雨水ポンプ場建設現場、直轄由比地すべり対策事業の3カ所をまわりました。
安心安全につながる取り組みを支援していきます。

平成28年度 静岡市一般会計予算が成立 2,822億円 (対前年比3億円減)

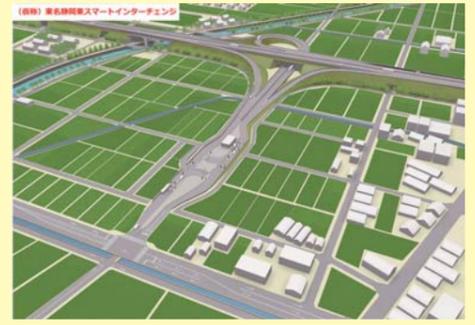
第3次総合計画を加速化させるため、「歴史文化」と「健康長寿」をキーワードに重点プロジェクトに予算を重点配分



※かっちは前年度。

様々なプロジェクトを盛り込み、人口減少対策に取り組んでいきます

- 歴史文化施設整備の推進
- 海洋文化拠点の基本構想策定
- 中山間地観光トイレの整備
- 大谷・小鹿地区のまちづくり計画の推進
- 企業立地促進事業助成の充実
- 安倍川・富士川洪水ハザードマップの作成
- 産後ケアの充実・ママケアデイサービスの創設



国民健康保険料の引下げを昨年度に続き自民党主導で決定

昨年度に引き続き、自民党主導で国保料の引下げを決定しました。静岡市国保運営協議会（会長は自民党市議団 栗田裕之議員）から市長に対し答申が行われ、市議会で保険料の引下げが議決されました。引下げは、1世帯あたり平均で約5.4%と昨年度引下げ幅を上回るものとなりました。

会派政策提言により交通弱者対策を本格実施へ

27年8月に自民党発議で、当局側と勉強会を立ち上げ、28年度当初予算に政策提言した高齢者などの交通弱者の移動の支援が、28年度予算に反映されました。

この制度は、交通弱者の移動手段の確保のために、住民が主体となって活動する地域に、車両や運送経費の一部を助成する制度です。28年度は清水区駒越地区をはじめ、市内4地区で実施を予定しています。

